

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	情報系資格対策講座1	
科目基礎情報							
開設学科	情報処理科		コース名	システム運用コース		開設期	前期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材 毎回資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。							
担当教員情報							
担当教員	山本 純士・清水 孝之・三島 秀三・藤本 海艶			実務経験の有無・職種	有・システムエンジニア		
学習目的							
学生が最新技術動向を業界のプロフェッショナルから聴講し、見識を広めることを目的とする。ITの技術は転換期にあるため、今後必要とされる人材は、知的な好奇心を持ち、興味を持った事柄についてはその深層まで探究することができる人間である。さらに、多様性が求められる昨今、学生とは異なる環境にいる人との交流を持つことが多様な価値観を持つ他者への理解につながる。本講義では学生の知的な好奇心を刺激すること、他者に対する想像力、発想力を養うことができる。							
到達目標							
基本情報技術者試験のテクノロジ分野(基礎理論、アルゴリズムとプログラミング、コンピュータ構成要素、システム構成要素、ソフトウェア、ハードウェア、ヒューマンインタフェース、マルチメディア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、システム開発技術、ソフトウェア開発管理技術)、マネジメント分野(プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、システム監査)、ストラテジ分野(システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、技術戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動、法務)のうち過去に出題された問題を重点的に理解する。							
教育方法等							
授業概要	基本情報技術者試験の必要性、午前試験免除制度を利用した場合としない場合の合格率にあきらかに開きがあることを理解させる。 各授業の前半では基本情報技術者試験の過去問を解き、自身の解答を学生が見直す。その後に不正解が多かった問題について重点的に解説を行い、学生の理解を高める。その後に、午後試験についても同様に過去問を解き、見直しを行った上で解説を行っていく。早く過去問を解き終わった学生に対しては適宜質問を受け付け、個別に解説を行うことで全学生が効率的な学習を進められるように実施していく。						
	過去問に対して学生が適当に解答をしてしまうと誤答者の多い問題が適切に選び出せず、解説の効果が薄い事態に陥ってしまうため、学生が一生懸命に過去問に取り組むことを最重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、講義中の私語や受講態度などには厳しく対応する。(詳しくは初回の講義で説明する。)理由のない遅刻や欠席は認めない。コンピュータテクノロジーで利用した教科書を忘れずに持参すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験	0%					
	課題	50%	過去問の点数の増減を基に評価する				
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画(1回～15回)							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス			基本情報技術者試験の午前免除資格の必要性、今後の進め方を理解する			
2回	過去問演習と演習の解説(1)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
3回	過去問演習と演習の解説(2)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
4回	過去問演習と演習の解説(3)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
5回	過去問演習と演習の解説(4)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
6回	過去問演習と演習の解説(5)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
7回	過去問演習と演習の解説(6)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
8回	過去問演習と演習の解説(7)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
9回	過去問演習と演習の解説(8)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
10回	過去問演習と演習の解説(9)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
11回	過去問演習と演習の解説(10)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
12回	過去問演習と演習の解説(11)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
13回	過去問演習と演習の解説(12)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
14回	過去問演習と演習の解説(13)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			
15回	過去問演習と演習の解説(14)			過去問の演習・解説を通して、解答を理解できる			